

KOGA IDOL

今月の古河っ子

いいこが
育つ古河



鈴木豊環 くん
(平成31年4月生まれ・新久田)
2人ともパパとママの宝物♡
(父：良一、母：望美)



**北野瑠華 ちゃん(左)
晴也 くん(右)**
(平成28年10月生まれ、平成31年2月生まれ・西間中橋)
やんちゃだけど笑顔で癒してくれる我が家の人気者。
(父：寿哉、母：里菜)



**鈴木愛悠 ちゃん(上)
七翔 くん(下)**
(平成29年10月生まれ、平成31年1月生まれ・久能)
みんなの宝物♡ずっと仲良しでいてね。大好きだよ。
(父：敏、母：綾子)



竹村大牙 くん
(平成30年1月生まれ・下大野)
仲良し兄弟！これから
も元気いっぱい遊ぼうね♪
(母：美穂)

お子さんの写真を募集中！＜対象＞0～3歳の市内在住のお子さん ＜応募方法＞メール・電話で受付中。メールのタイトルを「今月の古河っ子応募」とし、本文に「お子さんの氏名(ふりがな)・生年月日・父母の氏名・住所・電話番号」を明記し、city.pr@city.ibaraki-koga.lg.jp(☎シニアプロモーション課)へ申し込みください♪



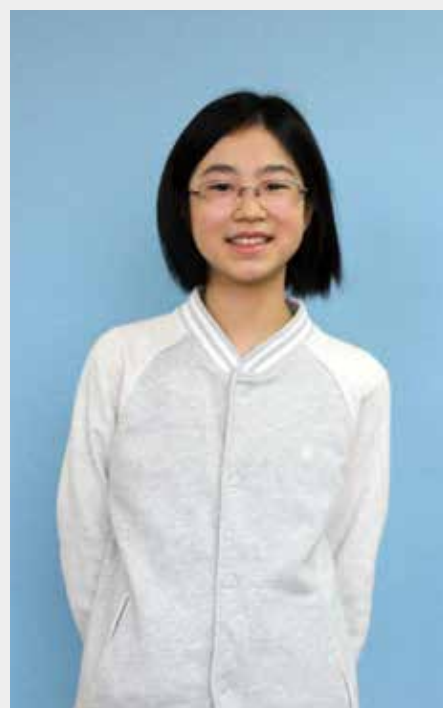
わたしの夢

音楽をとおして 人の支えに

石川穂祈さん 古河第七小学校6年生

私は5歳の時からヴァイオリンを習っています。ヴァイオリンの低音の響きが、人の心に寄り添うようで好きです。音楽には、大きな力があります。言葉の通じない相手でも、目の不自由な人でも、音楽があれば音と心で通じ合えるのです。

だからこそ、私は、その大きな力を使って、人の心の支えになりたいと思っています。そのための道はとても険しいですが、多くの人に音楽の良さを伝え、音楽をとおして人の心の支えになるためにがんばりたいです。



キラリ
古河ビト

さし茶を広く伝えるために

お茶の新たな可能性を追い求める茶師

吉田正浩さん(大堤・51歳)

市内で茶園を営み、緑茶や紅茶を製造・販売している吉田さん。昨年の日本茶AWARD2019では、さし茶で作った紅茶「IZUMI BLACK TEA 1st Flush 2019 silver moon」が日本茶準大賞を受賞しました。国内外で高く評価されるお茶を製造している吉田さんに、お話を伺いました。

平成4年に家業である茶園を継いだ吉田さん。煎茶を専門に製造・販売していましたが、東日本大震災の翌年、何か新しいことに取り組みたいという思いが強くなり、煎茶製造に活かす技術開発の一つとして紅茶製造を始めました。

紅茶に合う茶葉として選んだのは「いずみ」という幻の品種。研究生時代に先生から分けてもらった穂木100本を出荷できる状態に成長させるまでに、8年も費やしたと話します。しかし、強い個性を持つこの茶葉の製茶は、試行錯誤の連続でした。そんな中、相談した紅茶の製茶アドバイザーの助言をもとに試作を重ね、茶葉の持つ香りと個性を上手く調和させることに成功しました。

その結果、日本茶AWARD2019において、爽やかな香りとすっきりとした味わいが、これまでにはない新しい国産紅茶として認められ、出品数463点中2位となる日本茶準大賞に輝きました。

受賞をきっかけに、日本各地から注文が入り、さし茶のブランド力向上につながれていると実感しているそうです。今後は、紅茶をとおして多くの人にお茶の魅力を知ってもらい、これからも市民に愛されるものにし、話す姿からは、さし茶への真摯な熱意を感じました。

～Profile～

東京農業大学を卒業後、国立茶業試験場の研究生を経て家業である茶園を継ぐ。平成20年には世界緑茶コンテスト最高金賞を受賞、平成30年・令和元年にはプレミアムティコンテストで連続受賞、令和元年にフランスで行われた日本茶コンテストでは銅賞を受賞。



▲紅茶を入れる吉田さん



▲受賞した「いずみ」から作られた紅茶